



音声コードは、QRコードと同じ印刷物上の切手大の二次元コードで、日本語（漢字を含む）で、1コードに約800字の情報が入ります。

スマートフォン・タブレット端末や専用機械を使って文書を音声で読み上げることができ、視覚障害のある人も情報を得ることができます。

音声コードの位置を示すために、上図のように音声コード印刷部分には切り欠きが入れています。

音声コードは2種類あります。

- ① 活字文書読み上げ装置「Tellme」で読む音声コード(SPコード)
音声コードを再生する専用機械「Tellme」にのみ対応した音声コードです。



活字文書読み上げ装置

- ② スマートフォン・タブレット端末(アプリ)に対応した音声コード(Uni-Voiceコード)

音声コードを読み込むとUni-Voice(アプリ)の画面に文字情報も掲載されます。「Tellme」でも読み込むことができます。

チェック

障害のある人もない人も支え合って、共に生きる社会を実現するためには、障害や障害のある人への理解を深めることが必要です。パンフレットや冊子などの印刷物を作成する際には、音声コードの活用や文字を拡大するなど、障害のある人への配慮を心がけましょう。

また、印刷物をホームページにアップする場合は、コピー機で読み取るなど画像化されたPDFファイルは、音声読み上げ機能に対応していないので、同じ内容のHTMLファイルを用意するなどの対応を講じる必要があります。

内容についてのお問い合わせは
人権施策推進課まで
電話 073-441-2566

